

6月定例議会!

安全保障関連法の廃止を求める請願 不採択
賛成議員(若林清平、関根修、浅見裕彦)

6月議会報告

6月13日、14日の2日間にわたり横瀬町議会6月定例会が開催されました。

報告 有限会社果樹公園あしがくぼの経営状況について
報告 平成27年度一般会計繰越明許費繰越計算書について

議案 横瀬町税条例の一部を改正する条例

議案 横瀬町国民健康保健税条例の一部を改正する条例

議案 一般会計補正予算

議案 工事請負契約の締結について

議案 人権擁護委員候補者の推薦について



芦ヶ久保パーベキュー場

請願 安全保障関連法の廃止について

秩父地区労働組合連合会から3月議会に提出された「安全保障関連法の廃止について」浅見議員が紹介議員となり議論されました。総務文教厚生常任委員会でも不採択、本会議でも賛成議員3人で不採択となっていました。

多くの国民が戦争する国づくり推進に対して反対の声をあげていて、横瀬町議会も昨年この法案の慎重審議を求める意見書を探択してきました。強行採決されて、法律が施行される状況の中で、意見書を探択するように求めましたが、残念ながら不採択となりました。

賛成した議員 浅見裕彦議員、関根修議員、若林清平議員

反対した議員 向井芳文議員、黒澤克之議員、阿左美健司議員、宮原みさ子議員、新井鼓次郎議員、内藤純夫議員、大野伸恵議員、若林想一郎議員

浅見裕彦議員の一般質問

1 安全安心なまちづくりについて

問 いつ何時何が起るかわからない、こういう状況の中で、町民の安全をまもり、安心して暮らしていけるように

するのが行政の役目だと思えます。横瀬町の具体的な取り組み、町単独による防災訓練を行っているかについて伺います。

答 総務課長 災害時初動マニュアルを全職員に配布、訓練は今後の課題と考える。

問 町は町内行政区の自主防災組織との連携をどのように図り前進させているかを示してください。

答 町長 防災意識高揚・訓練の実施計画訓練を行うよう要請してきている。



2 芦ヶ久保の振興策について

問 茶葉を緑茶・紅茶にするにはお茶工場が欠かせません。そこに働くお茶製造の技術継承についてどうしていったらよいかです。これをどう育てていくか、町としての支援策を示してください。

答 振興課長 お茶のブランド化と販路拡大に努め、やる気のある後継者を育成して、茶畑再生を図る。また、お茶工場については茶業特産研究所から講師を派遣してもらい、技術継承の研修につとめている。

3 職員の適正配置について

問 課長級職員の兼務が多くなる責任の集中を考えると、決定権を集中でなく、権限に基づく職員配置が必要と考えます。

出先機関の長 これを副課長職、主幹級職にして充てるといったのも方法かと思えます。町はどのように考えているか説明してください。

答 副町長 業務の内容を精査して、出先に担当職員を配置した。適正な執行体制の整備に努めている。

4 若者遠距離通勤助成金の見直しについて

問 秩父鉄道や東日本利用户も西武鉄道利用者と同等と扱わないのは不公平と考えます。早急に見直しを示して下さい。

答 町長 秩父地域における横瀬町の役割は、東の玄関口です。秩父線を補助金に加えた場合、秩父郡市での人口取り合いが懸念され、秩父地域に定住 促進の横瀬の期待割合、横瀬の機能を検討課題としている。今後費用対効果、そして 町の人の意見を聞きながら検討をすすめます。

★横瀬町議会は議会改革の取り組みを始めました。

七月十四日議会全員協議会を開催し、横瀬町議会基本条例の策定に向けて動き出しました。

浅見議員は①住民に開かれた議会②町長と切磋琢磨する議会③自由で活発な議論が展開できる議会④政策提言のできる議会⑤住民の声を議会に反映できる議会⑥民主主義と住民自治発展の推進力となる議会を目指して奮闘して参りました。

今回策定に向けての委員としても選出されています。議会が住民にとってより身近な存在となるように努めていく所存です。



ラベンダーと武甲山